

# 県内活動拠点情報



## 訓練結果と課題

### 結果

- ① 既存の建物を使用したため設備面については、電源、トイレ、シャワー、仮眠室が完備されており環境は問題なし
- ② インターネット環境はなく、emobileは不通であった
- ③ 衛星電話については、南向に窓があり問題なし
- ④ 広い敷地内にコンビニ、給油所が併設、上下線へのアクセスが可能
- ⑤ NEXCO中日本からの積極的な協力が得られた。  
道路交通情報が瞬時に入手可能

## 訓練結果と課題

### 課題

- ① ライフラインの確保
- ② 通年使用が出来ない可能性
- ③ 建屋の構造・方向の事前把握
- ④ NEXCO同士の連携(次の料金所以遠はNEXCO西日本管理)
- ⑤ 土山SAは滋賀県 行政はどこが担当する

## 非被災地域の前線基地としての活用

- 医療チーム
- 資機材
- 支援物資

## 域外搬送拠点としての活動



搬送車両の有効利用が可能！  
救急車はドッキング？SAで一時収容？  
SCU的運用 展開エリア？  
上下線にアクセスできること

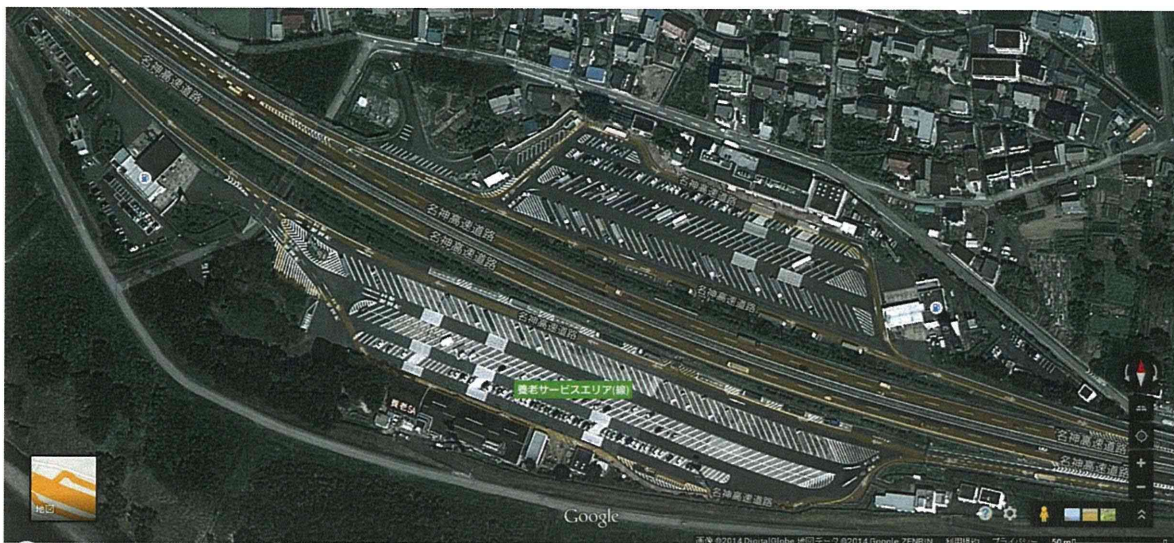
- C 行政担当
- S ゾーニング 環境対策 給油
- C 衛星電話 携帯電話 赤十字
- A 本部スタッフ 他機関連携
- TTT

搬送優先順位選定

治療エリア 医療資機材 確保

搬送車両待機 Uターン場所

## 養老SA



- 上下線が分かれている
- 本部はどこに設置

## 活動拠点としてのSA

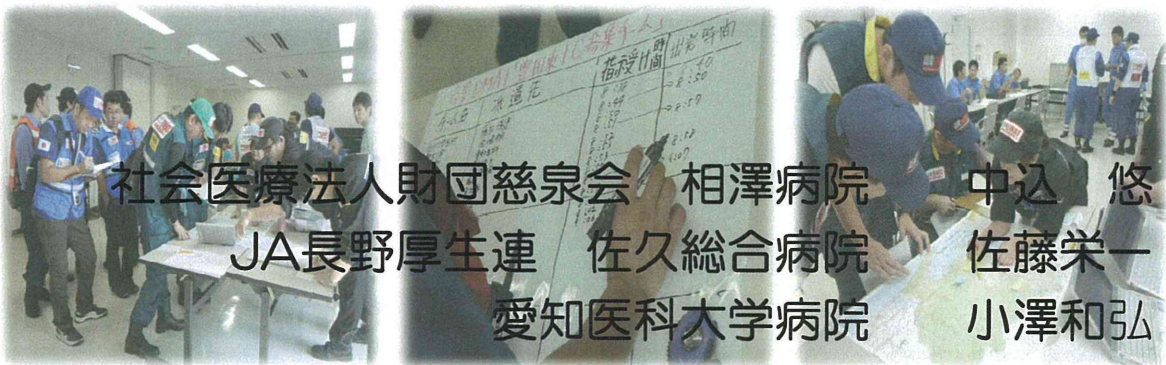
### 条件

- ① 既存の施設が利用できる
- ② 一般車の通行が制限されていること
- ③ 上下線のアクセスが可能であること
- ④ ライフラインが確保されている
- ⑤ 通年使用できること
- ⑥ 通信環境が確保されている

## まとめ

- NEXCO中日本土山SAを参集拠点として活用した
- 除雪基地を使用した域外参集拠点本部運営は設備面からも有用であった
- 域外搬送拠点としての運用の可能性も示唆された
- 種々の条件をクリアする適切なSAを事前に選定することにより災害時有用なSAとして活用できると考えられた。





## はじめに

高速道路施設を参集拠点として広域医療搬送訓練が行われた。高速道路施設は参集拠点・ロジスティックス拠点として機能できるか報告する。

### 【活動場所】

伊勢湾岸自動車道

豊田保全・サービスセンター2階会議室



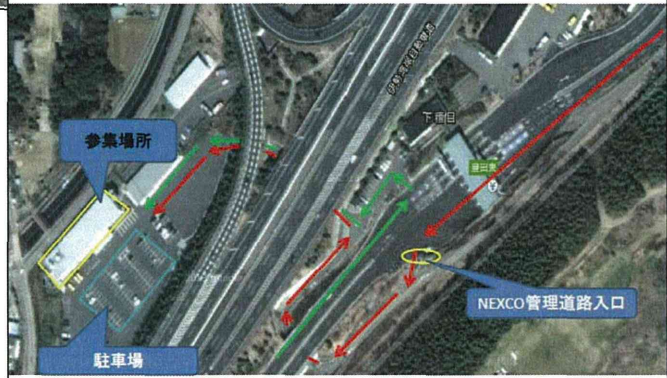
図4-2 豊田東IC参集場所アクセス

高速道路利用の場合 →  
一般道利用の場合 →



図4-3 豊田東ICアクセス

高速道路利用の場合 →  
一般道利用の場合 →



## 建物環境①

- トイレは1F、2Fともに設置あるも、女性用トイレに関しては1箇所（2F）の一人専用のみ。
- 食べ物に関しては敷地内での調達不可。
  - 建物内では飲み物のみ調達可能
- 建物内での休息は不可能。
  - 仮眠室はあるも1部屋のみ
  - 資機材等の置けるスペースはなし
- ホワイトボードは1枚のみ。
  - ライティングシートを張れる壁は多数ある。



## 建物環境②

- 電源に関してはコンセントが多くあるが、2口（変換プラグが必要）
- 自家発電、貯水タンク等の設備は不明
- 固定（天井付き）のプロジェクター1台、スクリーン1台あり。
- 80台程、駐車出来るスペースあり。



## 衛星電話接続状況

- 2階会議室の外にアンテナを設置できるスペースあり。
  - インマルサット →問題なし。
  - ワイドスター →窓際ではアンテナレベルが圏外。  
会議室内利用には可搬型アンテナが必要。
  - イリジウム →屋外で使用可能。
- IP無線は非常に有用で会話もクリア。





# インターネット接続状況

- 各ツール接続に関して
  - WIMAX…窓際に設置するも低レベルで不安定。さらに、頻回に切断される。
  - 3G…使用に問題ない。データ通信量が過多でWEB会議は実施不可能。
  - LTE…圏外で通信不能。（平成25年8月31日時点）

EMISを中心としたDMAT活動を行う上では問題ない。

『きずな』（JAXA衛星）等を使用すればWeb会議等の大容量データ通信の問題も解消される。

## メリット①

### 最新の高速道路情報が入手出来る

- 豊田保全サービスセンターに高速機動隊の施設が併設している。
- NEXCO職員（リエゾン）より情報収集可能。
- 社内用のPCにて県内の道路状況のページも供覧可能とのこと



## メリット②

### 緊急通行車両確認証明証の発行

- 事前計画では豊田東ICは緊急車両確認証明証の発行場所として指定されている。
- 地元で発行されている場合も、ここで書類の確認が必要となる。
- 証明証発行の際には『目的地』が必要となる。



## 参集拠点としての課題

- 燃料補給と食料調達の計画…豊田東ICでは補給と調達困難。
  - ⇒ DMATは、燃料と食料の補給については、上郷SAを利用することで対処できる可能性がある。
  - ※NEXCO中日本は、防災拠点サービスエリア（SA）に指定している上郷SAから豊田東ICに、ガソリンや食料を輸送する計画はない。
- 高速道路や一般道路から本部建屋までのアクセスが複雑。
- 待機場所と休憩場所の確保…仮眠室はあるが1部屋。（但し、近隣にホテルが点在。）
- 直近のヘリポート情報については未確認。